

日本文化の春

2011年1月20日～3月19日まで、「日本文化の春」と称し、以下の文化事業を実施いたしました。

● カレンダー・日本人形・工芸品展

全国カレンダー出版協同組合連合会より寄贈された日本のカレンダーと、日本人形、工芸品の展示を行いました。2011年1月20～2月6日まで、サントドミンゴの人類学博物館において実施した後、ラベガ（2月24～3月2日まで、於：キリスト教技術大学（UCATECI）、ハラバコア（3月3～10日まで、於：ハラバコア市役所）、ダハボン（3月18、19日、於：ダハボン日本人協会公民館）の3カ所に巡回展示いたしました。地方の展示会では、日本人協会にご協力いただき、盆踊りや空手のデモンストレーション、日系人の移住の歴史に関するドキュメンタリーの上映等も行いました。



<首都：展示の様子>



<ラベガ：開会式の様子>



<ハラバコア：日本人会婦人部
ボランティアの方達と>



<ダハボン：展示の様子>

● 柔道デモンストレーション及びワークショップ

国際交流基金の派遣により、柔道家4名（柏崎克彦（8段）、内村直也（6段）、大坪俊裕（5段）、廣川充志（5段））が当地を訪問し、サントドミンゴ（2月14日）、サンティアゴ（2月15日）、ラベガ（2月15日）、サン・フアン・デ・ラ・マグアナ（2月16日）において、当地柔道関係者の協力のもと、デモンストレーションとワークショップを行いました。

国際交流基金による柔道家の派遣は、16年ぶりに実施されたこともあり、当地において大きな反響を得ることが出来ました。

【2月14日 サントドミンゴ：ワークショップ】



【2月15日 ラベガ：ワークショップ】



【2月15日 サンティアゴ：ワークショップ】

